

## (財) 自治体国際化協会 ロンドン事務所 マンスリートピック (2013年2月)

### 地方選挙の日程統一を目指すノルトライン・ヴェストファーレン州

ノルトライン・ヴェストファーレン州で2005年に政権交代があり、40年ぶりに保守党（キリスト教民主同盟 CDU）が中心となった連立政権が地方自治体へも多様な変化をもたらした。2007年から、直接公選首長（市町村長及び郡長）の任期が5年から6年に延長され、地方選挙は議会選挙と首長選挙を別々に実施するようになった。議会議員の任期は、依然として5年間である。2007年以降の地方選挙では、首長選挙の投票率が下がったことが明らかとなった。2010年には州政権が再び交代し、社会民主党（SPD）及び緑の党が、少数政権を構成することとなり、その後議会解散のために必要となった2012年5月の選挙の結果、両党が過半数を獲得し、引き続き連立政権が成立している。

現在の州政府は、地方選挙制度を元に戻すための政策案を発表した。公選首長や議会議員の任期を合わせ、地方選挙を統一選挙にする提案である。提案の動機として二つの理由を挙げている。一つは、首長及び議会は協力的な関係が不可欠であり、郡長と郡議会、市町村長と市町村議会は地域のために協同する必要があるため、選挙日が別となれば、同一選挙日と比べて、選挙運動で対立的な立場をとったり、課題について異なる意見を表明する可能性が高い。二つ目の理由は投票率である。特に個別の市長選の投票率は低くなり、30%まで下がった市町村もあった。地方選挙が統合されれば、投票率が再び向上することが期待されている。

州政府は、2020年までに統一地方選挙を実施したいと考えている。議員の任期を一時的に5年から6年に延長し、公選首長の任期を5年に縮小することを提案している。2014年に予定されている地方選挙までに法律改正を行い、2020年までに計画の実現を目指している。

2020年まで待たず、より早く実現を目指す別の提案は、現在の首長が任意に任期を短縮し、2014年に統一選挙が出来るようにするという内容である。

市町村を代表するノルトライン・ヴェストファーレン州の都市会議は、統一的な地方選挙の原則を歓迎している。統一日程での選挙は、選挙業務の負担も軽減され、また投票率の向上につながる可能性があると考えられている。しかし、現職首長が自主的に任期を短縮するという提案については疑問が持たれている。州憲法上でも、公共業務の執行に関する法律の規定からはこのような制度改革が許されるかどうかは不明である、としている。ドイツでは、公選首長は、「任期付き公務員」とされており、任期の保障を含む公務員としての法的権限及び特権が与えられているからである。

#### 参照

NRW Landesregierung, Pressemitteilung 14.6.2012, 'NRW will Bürgermeister und Räte wieder an einem Tag wählen/Kommunalminister Jäger: Wir wollen eine höhere Wahlbeteiligung'  
<http://www.nrw.de/landesregierung/jaeger-wir-wollen-eine-hoehere-wahlbeteiligung-13041/>

Städtetag Nordrhein-Westfalen, Pressemitteilung 12.12.2012, 'Gemeinsame Wahlen von Bürgermeistern und Räten sind sinnvoll – Bedenken zum vorzeitigen Ende der Amtszeit'  
<http://www.staedtetag-nrw.de/presse/mitteilungen/063719/>